

出前講座プログラム（例）

### 地図から分かる地域の移り変わり

◇ねらい：身近な地域の歴史について、地図（基本図）を利用することを通して、地域の移り変わりを理解するとともに、地域への関心を高めることができる。

◇対象：小学生4～6年生（1学級）

◇所要時間：45～60分

◇講師：岐阜県図書館郷土・地図情報係職員

◇費用：なし

活動展開例	備考
1 地図記号の問題を解く。 ・田、畑、果樹園などの土地利用 ・学校、郵便局などの公共施設 等 *基本図の読み取りに必要な、簡単な地図記号を提示する。 また、地図に対する興味関心をもたせる。	【講師】 ・地図記号を通して、基本図に書かれている情報を説明する。
2 現在の地図と100年前の地図を見比べる。 ① 田を青色など地図の着色を行う。 *作業に多くの時間を使うことがないように、簡単に着色する。 ② 新旧の地図を見比べ、わかったことを交流する。 ・昔は田や桑畑ばかりである。 ・今はたくさんの住宅地がある。100年で人口が増えたことが分かる。 ・〇〇小は100年前の地図にもある。 ・今は道路がたくさんある。 ・川の流れはあまり変わっていない。 *昔と比べて変化したこと、変わっていないことを区別してまとめる。	【講師】 ・プリント（現在と100年前の基本図）を提供する。 【講師、担任等】 ・作業が困難な児童を補助する。
3 わかったこと等を感想用紙に記入し、地図を通して体験したことをまとめる。 ・100年前と今の地図を比べ、随分と町の様子が変わったことがよくわかった。 ・地図にはたくさんの情報がある。昔から地図が描かれていることがわかった。もっと自分の地域について調べてみたい。	【講師】 ・感想をもとに、地図の魅力について話す。 ・さらに深く調べるための手段や方法をアドバイスする。

～活動を計画するにあたって～

- 資料は岐阜県図書館で用意します。必要な枚数を事前に伝えてください。
- 活動に必要な用具は各自で用意してください。
  - ・筆記用具
  - ・色鉛筆（色ペン）